

「学ぶ土台づくり」市町村支援モデル支援事業

目的

近年、小学校へ入学した児童が学校生活に適応できず、学級がうまく機能しない状況に陥る「小1プロブレム」が指摘されている。そこで、特別支援教育の視点での幼保小連携に重点的に取り組む。

内容

- 1 幼稚園や保育所等における教育・保育の質の向上を図るための研修等の実施
 - 小学校での授業研究会の開催
- 2 保幼小の連携と小学校への円滑な接続を図るための連絡協議会等の開催
 - 塩竈市幼保小連絡会の開催
 - アプローチ・スタートカリキュラム作成委員会の開催
 - 「塩竈市アプローチ・スタートカリキュラム」の活用，改訂
 - 「ひらがな・すうじ・できるかな」の配布

1 幼稚園や保育所等における教育・保育の質の向上を図るための研修等の実施

○ 小学校での授業研究会の開催

期日	研修会	講師	会場	参加数
R1.9.23	第一小学校公開研究会	山形大学大学院教育実践研究科 准教授 森田 智幸	第一小学校	52名
R1.11.6	第三小学校公開研究会	宮城教育大学教職大学院 准教授 金田 裕子	第三小学校	65名
R2.2.14	第一小学校公開研究会	山形大学大学院教育実践研究科 准教授 森田 智幸	第一小学校	90名

「塩竈市独自の小中一貫教育」及び「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業研究会を3回行いました。地域の幼稚園・保育所（園）にもご案内をしています。今年度の授業研究会には幼稚園長，保育所長，幼稚園教諭に参加していただくことができました。本市の学校教育の取組を実際に参観していただく機会となりました。

2 保幼小の連携と小学校への円滑な接続を図るための連絡協議会等の開催

○ 塩竈市幼保小連絡会の開催（年2回）

期日	講話	講師	参加数
R1.6.12	適正な就学指導について	東北福祉大学大学院教育学研究科 特任教授 阿部 芳久	29名
<ul style="list-style-type: none">・塩竈市の幼保小連携事業の今年度の取組について説明しました。・講話では、障害のある児童生徒の就学先の決定までの流れ及び保護者への対応の仕方について研修しました。			
R1.1.15	幼児期の教育・保育と小学校への 円滑な接続・連携について	宮城教育大学 教授 佐藤 哲也	33名
<ul style="list-style-type: none">・今年度の塩竈市幼保小連携事業の実施状況について説明しました。 今年度の課題と次年度の取組について確認しました。・講話では、幼保と小学校の円滑な接続・連携について研修しました。 幼保と小学校の互いの違いを知ること、相互訪問の大切さについて研修を深めました。			

2 保幼小の連携と小学校への円滑な接続を図るための連絡協議会等の開催

○ アプローチ・スタートカリキュラム作成委員会の開催

- ・ 塩竈市幼保小連絡会の開催に合わせて作成員会を行っています。
- ・ 「アプローチカリキュラム」（第2版）と「スタートカリキュラム」（第3版）を活用し気づいた点を集約し、次回の改訂に生かすことを確認しました。
- ・ 次年度は「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」を1冊にして幼保と小学校の関連が分かるようにする予定です。

○ 「塩竈市アプローチ・スタートカリキュラム」の活用, 改訂

- ・ 「アプローチカリキュラム」（第2版）を市内の幼稚園・保育所等に配布し、小学校入学前の年長児のクラスで活用しています。
- ・ 「スタートカリキュラム」（第3版）を市内小学校に配布し、4月当初から第1学年で活用しています。

アプローチカリキュラム（例）

学び 言葉を増やそう（しりとり）

学び 色遊び クレヨンのお散歩

生活 持ち物の整理をしよう

生活 挨拶のしかた 姿勢・方法

遊び おにごっこ

遊び はないちもんめ

生活

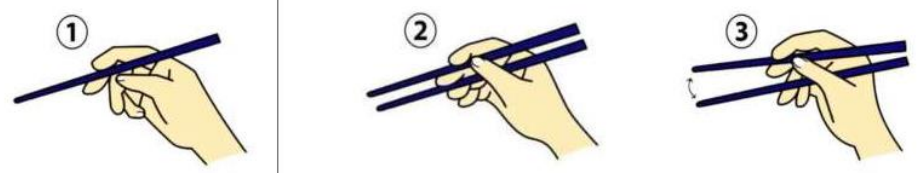

4 箸の持ち方

1月

- ◎ 箸に興味を持ち、正しい持ち方を知る。（健康・環境・人間関係）
- 食事のマナーを知る。

※ 基本は家庭でしつける。集団で行うことで、自他の違いに気付き、うまく使えていなかった子供の練習、または意識付けのきっかけとなる活動とする。

※ あらかじめ、家庭から箸を持ってくる。

子どもの活動	保育士・教師の働きかけ
<p>1 箸を鉛筆を握る要領で 1 本だけ持つ。</p> <p>2 あと一本の箸を指の間に入れ、箸の掛け図と同じようにする。</p>	<p>○ 鉛筆を持っている掛け図と、自分の持ち方を見比べさせ、同じように持てたか確認させる。一人一人確認する。</p> <p>○ 友達同士でも見合って、正しい持ち方に近づける。</p>
	
<p>3 豆つかみをする。</p>  <p>豆の時間 23 練習 015</p>	<p>○ 豆が入っているカップは片方の手に持たせてもいい。</p> <p>○ 空のカップを持ってやってもよい。</p> <p>○ 落ち着いて取り組ませる。豆が転がりやすいので、落ちてしまったら、途中でやめて豆を拾わせてから再開させたい。</p> <p>* 豆が難しい実態の場合は、スーパーボールや小さな丸いスポンジ（百均などで販売し</p>

スタートカリキュラム（例）

学習 呼ばれたら「はい」とお返事

生活 いろいろな挨拶

学習 学習道具の出し方・しまい方

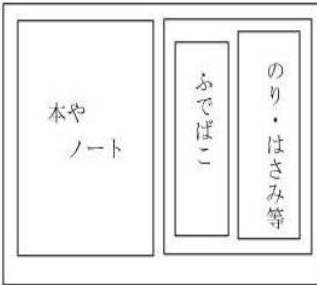
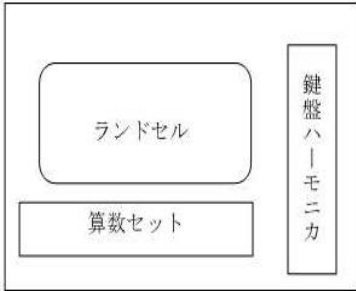

生活 廊下・階段の歩き方

生活 靴のそろえ方・傘の置き方

生活 上靴のはき方

3 学習道具の出し方・しまい方

学習道具や用具をカバンから机の中に、机の中からカバンの中への出し入れ等について学び、練習する。

子どもの姿・活動内容	教師のかかわり
<p>1 カバンの中から、机やロッカーの中に出す。</p> <p>(1) 学習用具を引き出しの中へ</p>	<p>○ どのように入れるとよいかを示してあげることが大切である。</p> <p><机の中の例></p>  <p>1枚時から順に重ねておく。終わった教科は、一番下へ。次の教科を出す。</p> <p>○ ロッカーの中へカバンをしまうが、同時にロッカーや物掛けフックの使い方も指導する。各学校により、ロッカーの形や大きさが異なるため、各学校での工夫が必要である。</p> <p><ロッカーへのしまい方の例></p>  <p><物掛けフックの例></p> 

2 保幼小の連携と小学校への円滑な接続を図るための連絡協議会等の開催

○「ひらがな・すうじ・できるかな」の配布

ひらがな・すうじ・できるかな？

わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
り		み	ひ	に	ち	し	き	い	
を	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	
ん	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
できるかな？	できるかな？	できるかな？	できるかな？	できるかな？	できるかな？	できるかな？	できるかな？	できるかな？	できるかな？

協進市教育委員会

「ひらがな・すうじ・できるかな」の表はひらがなと数字、そして入学までにできるようになってほしいことを1枚にまとめたものです。

お子さんが普段生活している場所に掲示していただけるようA3版でできています。

「ひらがな・すうじ・できるかな」は、就学時健診の際に、保護者の皆様に活用のしかたについて説明したうえで配布しております。